
The 46th JCI Technical Conference | A. Material & Construction | Non-destructive Test · Diagnosis (Material properties/Durability)

Non-destructive Test · Diagnosis (Material properties/Durability)II

座長:古賀裕久(土木),兼松学(建築)

Wed. Jun 26, 2024 1:00 PM - 3:00 PM Room 6 (多目的ルームB)

[1283]Influence of water saturation distribution in mortar during wet and dry processes on the rebound number

Shinnosuke Aizawa¹, Kentaro Ohno¹, Satoshi Iwano², Tomohisa Kamada¹ (1.東京都立大学 2.リック)

Keywords:反発度、モルタル、力学的特性、飽和度分布、圧痕体積

コンクリートの反発度試験において、反発度はコンクリートの含水状態に影響を受け値が変動することが知られているが、その影響範囲は明確にされていない。本研究では、コンクリート内部の含水状態が反発度に及ぼす影響を検討するため、粗骨材による反発度の変動要因を排除したモルタル供試体を対象に吸水および乾燥を行い、モルタル表面の乾湿状態の違い、および内部の飽和度分布の変化が反発度に及ぼす影響について検討した。その結果、同一供試体にて表面の乾湿状態が異なる2面の反発度は異なり、打撃した一表面から20mm程度までの深さの含水状態が反発度に影響を及ぼす可能性が示唆された。